



## 緑の募金事業候補応募書

令和5年7月31日

公益社団法人 国土緑化推進機構  
理事長 濱田 純一 殿

応募者の名称等

〒 299-2713  
千葉県南房総市和田町松田686-1

住 所

法人・団体 くじらのもり  
の名称

代表者氏名 白井健  
TEL 090-5549-6715

下記の活動を行いたく、「緑の募金」の「SDGs貢献使途限定募金」による支援を希望しますので、事業候補に応募いたします。

### 記

#### 1. テーマ (募集規則に定められたテーマのうち特に該当するもの1つを記載)

生物多様性の保全と回復への貢献 (SDGs 目標 14、15 貢献)

#### 2. 事業名 (簡潔に記載。20字以内)

里山の新しい楽しみ方に挑戦! 「安馬谷 (あんばや) 里山」アップデートプロジェクト

#### 3. 事業目的 (この事業を行うことで解決したい課題等を具体的かつ簡潔に記載。60字以内)

高齢化などより里山の保全活動を持続することが困難となっている。里山の価値を発信し新しい人の流れを作ることを目的とする。

#### 4. 事業内容 (募金者の作業参加を含め、何をどれだけ実施するのか等、簡潔に記載。複数年の事業の場合、全体計画の位置づけも明示し、別途全体計画のわかる資料を添付)

- ①里山の整備活動ワークショップ 3回程度
- ②生き物調査や里山の魅力を感じるワークショップ開催 5回程度
- ③ ①、②を元に里山ガイドマップの作成
- ④ICTを活用したセルフガイドアプリ (はなもく散歩) の開発

(注) SDGsへの貢献について、別添に記載してください。

## 5. 事業場所（位置図を別途添付）

（都道府県・市町村・地番）  
千葉県南房総市安馬谷  
（所有者）南房総市

全体面積	12	ヘクタール
実作業面積	12	ヘクタール

## 6. 現地の状況（別途説明付きの写真、地図・図面等を添付。必要に応じて参考資料を添付）

千葉県南房総市丸山地区にある「安馬谷（あんばや）里山」は、平成10年に中山間地開発事業として桜を中心とした植樹をスタートさせ。平成15年に23人の参加者とともに安馬谷里山研究会を設立した。桜、ツバキ、ミモザ、アカシア、ロウバイ、アジサイなどの植樹や、草刈り、苗木づくり、地元小中学校との記念植樹、道の駅での写真展、子どもたちの里山保育、里山ごみ拾い、定期的な里山ハイキングなどを行ってきた。しかし、会員の高齢化などにより、その活動の維持が困難になりつつある。今回は本事業を活用し、新しい里山の活用の仕方や、人の流れが活発に行われるようなワークショップなどの開催を行なっていく。

## 7. 事業実施希望期間

令和 5年11月 ～ 令和6年11月

## 8. 事業実施スケジュール（特に、募金者の現地での作業参加の機会を明記）

時期	内容
R6. 1月～6月	整備活動ワークショップの開催 3回程度 チェーンソーの扱い方、整備の基本的な実施の仕方などを予定 ※募金者無料招待
R6. 3月～6月	生き物調査や里山の魅力を感じるワークショップ開催 5回程度 環境改善、生き物・植物の調査、野草の調理など里山に関する知恵を学ぶ ワークショップを予定 ※募金者無料招待
R6 8月～10月	里山マップの作成、里山セルフガイドアプリの開発
R6 11月	里山セルフガイドマップ 試行

## 9. 事業完了後の取組成果の展開予定

（事業完了後の維持管理（主体、内容、期間等）や成果を踏まえた新たな展開について記載。  
必要に応じて参考資料を添付）

ワークショップなどを通して、安馬谷里山研究会がこれまで行ってきた活動を新しい人材が引き継げるようなコミュニティを作っていく。本事業終了後も、弊社が定期的にイベントやワークショップなどを企画し、里山に関わる人材の育成、コミュニティ醸成を担っていく。また、南房総市はじめ全国で同じような課題を抱えているが、同時に支援していくことは難しい。今回は、安馬谷里山研究会と連携しながら里山保全のモデルを作っていく、成功事例を作る。ゆくゆくは市内の里山団体と連携しながら横展開していく。

## 10. 資金計画書

区分		予算額 (千円)	内訳
収入の部	緑の募金交付金	1,900	
	自己資金		
	その他助成金		
	合計	1,900	
支出の部	行動費	130	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険料 ワークショップ10,000円×8回=80,000円</li> <li>・講師交通費50,000円</li> </ul>
	環境整備費	520	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフガイドアプリ開発費 400,000円</li> <li>・里山マップ制作費 100,000円</li> <li>・マップ印刷費 20,000円</li> </ul>
	資材費	700	<ul style="list-style-type: none"> <li>【作業資材】300,000円</li> <li>・チェーンソー、仮払い機、斜面作業用ハーネス、安全帯、ヘルメット等</li> <li>【整備ワークショップ資材】200,000円</li> <li>・チャップス、草刈り機刃、チェーンソー刃、混合ガソリン、チェーンオイル、竹ぼうき、熊手、み、鎌、ノコギリ、苗木の購入等</li> <li>【生き物調査ワークショップ資材】100,000円</li> <li>書籍、図鑑、調査道具等</li> <li>【セルフガイドアプリ開発】100,000円</li> <li>・植物名表示用看板資材、表示QRコード、説明資材、塗料、塗装にかかる消耗品</li> </ul>
	資材等運搬費		
	指導者経費	360	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備活動ワークショップ 講師謝金 20,000円×3回</li> <li>・生き物調査ワークショップ 20,000円×3回</li> <li>・森に親しむワークショップ 20,000円×2回</li> <li>・里山セルフガイドアプリ 調査、開発 謝金 20,000円×5日×2人</li> </ul>
	事務費	190	<ul style="list-style-type: none"> <li>【消耗品費】10,000円</li> <li>コピー用紙、インク、文房具関係</li> <li>【人件費】180,000円</li> </ul>
	交付金計	1,900	
	自己資金等計	0	
合計	1,900		

(注1) 自己資金等には他団体からのその他助成金を含めてください。

(注2) 募集規則の「交付対象経費」一覧で適切な科目区分をご確認ください。

(注3) 交付金での支援決定の前には、上記一覧の細分毎の額を提出いただきます。

## 11. 応募者の概要

法人・団体の設立年月日	2023年3月16日
連絡先 電話番号	090-5549-6715
F A X 番号	なし
E - m a i l	<a href="mailto:info@kuiiranomori.com">info@kuiiranomori.com</a>
ホームページ	<a href="https://kuiiranomori.com/">https://kuiiranomori.com/</a>
会員数	
活動目的	私たちは、この地球で、自然の中で、共に遊び、憩い、笑い、感謝し、学ぶ体験を通して、人も自然も幸せな世界を目指します。
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・家族向けアウトドアイベントの企画実施</li><li>・体験型観光商品の開発・実施</li><li>・地元学校向け自然体験プログラムの支援</li></ul>
主な活動地域	南房総市、館山市、鴨川市などを中心とした千葉県内の海、川、山など
主な森林整備及び緑化推進活動の実績（具体的な数値を記載。「緑の募金事業」によるものは明記。必要に応じて参考資料を添付）	前職（大房岬自然の家）にて、「SDGs貢献使途限定募金による応援プロジェクト」【炭焼き体験を通じた里山の資源循環を学ぶ場づくり】の実施

## 実施事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について （整理表）

この整理表は、予定される事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について確認するものです。

1. SDGsの17の目標のうち、予定事業が、その達成に貢献する目標にチェック「✓」をしてください。（複数チェック可）
2. チェックのある目標について、その達成に貢献する具体的な活動を記入してください。
3. 申請に当たってのテーマ以外も含めて記入ください。

SDGsの目標	チェック	貢献する具体的な活動を記入
1	<input type="checkbox"/>	
2	<input type="checkbox"/>	
3	<input type="checkbox"/>	
4	<input checked="" type="checkbox"/>	里山を整備し、子ども達が過ごせるようなフィールドを整えることで地元学校の授業の場として活用できるようになる
5	<input type="checkbox"/>	
6	<input type="checkbox"/>	
7	<input type="checkbox"/>	
8	<input type="checkbox"/>	
9	<input type="checkbox"/>	
10	<input type="checkbox"/>	
11	<input checked="" type="checkbox"/>	里山が持つ癒しや学びをプログラムにすることで人が集い、地域における重要な場所として認知される
12	<input type="checkbox"/>	
13	<input checked="" type="checkbox"/>	自然の中での体験活動を推進することで、自然環境保全や地球温暖化防止の意識を高めることができる
14	<input checked="" type="checkbox"/>	森と海が水で繋がっているということを体験を通して知ることによって間接的に海の環境を守る意識を高めることができる
15	<input checked="" type="checkbox"/>	里山の生き物、植物を知ることによって、生物多様性の重要性理解し、自然環境保全の意識を高めることができる
16	<input type="checkbox"/>	
17	<input type="checkbox"/>	

（注）SDGs（持続可能な開発目標）は、貧困や格差、気候変動、海・陸の豊かさなどのさまざまな問題を抜本的に解決することを目指す、世界共通の17の目標です。  
詳しくは、国連広報センターのサイトや国土緑化推進機構のサイトのハンドブック等をご参照ください。

[http://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/](http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/)

<http://www.green.or.jp/about-us/sdgs/>